

### (3) 骨材

#### 新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和4年度10月～12月期の骨材需給は、11月まで堅調に推移した地域もあったが、12月に入ると、降雪の影響などにより全体的に減少し、県計では、出荷量、生産量ともに9%減となった。

地区別に前年度同期比を見ると、上越地区では、出荷量は16%減、生産量で10%減、中越地区は、出荷量は6%減、生産量で7%減、下越地区は、出荷量、生産量ともに4%減、佐渡地区は、出荷量で33%減、生産量で40%減となった。

#### 富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和4年10月～12月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は7%減、生産量は9%減と、出荷量、生産量とも前年度を下まわった。また、前期(令和4年度7月～9月期)比では、出荷量は11%増、生産量は5%増となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が7%減、生産量が13%減、西部地区においては出荷量が6%減、生産量が6%減となった。

12月末在庫量は、前期末(令和4年9月末)より、東部地区では20ポイント減に、西部地区では6ポイント増に、県全体では14ポイント減となった。

#### 石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和4年度10～12月期の骨材(県内産)の需給状況は、繁忙期に入ったものの依然として新型コロナウイルスの影響を発端とする需要不振が続いており、県計全体の出荷量は前年同期と比べて4%の減少となった。

10～12月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は陸砂利・川砂利が低調な状態が続いていることが影響して前年同期比で4%の減少となった。一方、能登地区は前期からの回復傾向を維持し前年同期比で20%の増加となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、その主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、大口需要の金沢地区が依然として不振から抜け出せず15%の減少となった。一方、南加賀地区は復調基調を取り戻し、今期は前年同期比で3%の増加となった。また、アスファルト合材業者向けの出荷は、今期も好調を維持し前年同期比で30%の増加となった。しかし以上を総じると、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で8%の減少となり、3期連続の減少となった。

また路盤材を主体とする加賀地区の山砕石は、大型物件のない中、今期も堅調に推移し前年同期比で4%の増加となった。

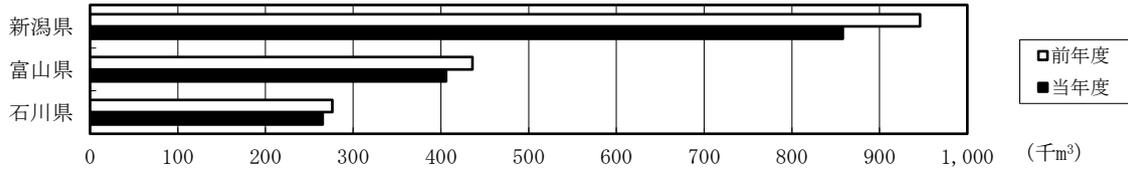
一方、能登地区(山砕石)については、今期は前年同期比で20%の増加となった。しかしこの地区は県外からの流入材に押されて量的に少ない上に、コロナ禍による需要の縮小化が状況を更に深刻化しており、依然としてこの地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況にある。

生産量については、加賀・能登地区共に概ね出荷量に合わせた生産体制をとっており、今期は能登地区の山砕石がやや過剰気味となったが、県計では前年同期比で4%の減産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利・川砂利と能登地区の山砕石が積み上がり傾向にあることから、県計全体の前年同期比では6%の増量となった。

第3四半期(R4.4～12月)の累計では、出荷量は県計で前年度と比べて5%の減少となり、生産量も2%の減産となった。なお在庫量は6%の増量となった。

骨材出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	令和3年度 年計	令和4年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲5 771	▲20 170	▲13 213	▲16 198	▲16 581	
		生産量	▲4 780	▲23 190	▲16 212	▲10 216	▲16 618	
		在庫量	7 131	▲5 151	▲9 150	▲1 167	▲1 167	
	中越	出荷量	0 966	▲3 226	1 304	▲6 279	▲3 809	
		生産量	1 961	4 262	1 311	▲7 263	▲1 836	
		在庫量	▲2 300	4 336	4 343	4 326	4 326	
	下越	出荷量	2 1,240	1 298	▲6 322	▲4 340	▲3 960	
		生産量	▲1 1,184	6 312	10 341	▲4 319	4 972	
		在庫量	▲7 709	▲5 723	1 742	2 722	2 722	
	佐渡	出荷量	22 178	0 34	▲16 36	▲33 41	▲20 111	
		生産量	24 177	▲3 36	▲10 37	▲40 36	▲21 109	
		在庫量	▲6 300	▲5 35	0 36	▲6 32	▲6 32	
	県計	出荷量	0 3,155	▲6 728	▲6 875	▲9 858	▲7 2,461	
		生産量	0 3,102	▲4 800	▲1 901	▲9 834	▲4 2,535	
		在庫量	▲4 1,173	▲3 1,245	1 1,271	2 1,247	2 1,247	
	富山県	東部	出荷量	2 665	4 154	▲9 158	▲7 190	▲5 502
生産量			4 678	1 160	▲7 162	▲13 168	▲7 490	
在庫量			15 97	11 104	12 109	1 87	1 87	
西部		出荷量	5 844	2 210	▲11 207	▲6 216	▲6 633	
		生産量	8 848	3 215	▲10 204	▲6 218	▲5 637	
		在庫量	14 32	23 38	31 34	38 36	38 36	
県計		出荷量	4 1,509	3 364	▲10 365	▲7 406	▲5 1,135	
		生産量	6 1,526	2 375	▲9 366	▲9 386	▲6 1,127	
		在庫量	15 129	14 142	16 143	10 123	10 123	
石川県	加賀	出荷量	▲8 936	▲7 210	▲4 229	▲4 259	▲5 698	
		生産量	▲11 921	▲4 219	2 234	▲6 250	▲2 703	
		在庫量	▲10 142	▲4 151	5 156	3 147	3 147	
	能登	出荷量	▲24 13	50 3	100 2	20 6	38 11	
		生産量	17 14	100 4	0 2	125 9	88 15	
		在庫量	20 6	40 7	17 7	100 10	100 10	
	県計	出荷量	▲8 949	▲7 213	▲3 231	▲4 265	▲5 709	
		生産量	▲11 935	▲3 223	2 236	▲4 259	▲2 718	
		在庫量	▲9 148	▲3 158	5 163	6 157	6 157	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員105社のうち105社

富山県

会員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会員21社のうち21社 (委託工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)